

入院診療計画書

腰椎後方固定術・腰椎椎弓形成術
腰椎椎弓切除術・腰椎椎間板摘出術

を受けられる()様へ

薬剤師

リハビリ担当

担当管理栄養士

2部 印刷
1部:患者ファイル
1部:患者様用

病名

年齢

生年月日:

症状

受持看護師

病棟

手術日時

年

月

日

AM

PM

時

分

病日	入院日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	～	術後7日目	退院(術後15日目)
日付		(術前)	(術後)				～		
目標	不安がなく手術を受けることができる		身体が痛い時や調子の悪い時などに看護師に伝えることができる						
	治療(手術)の流れについて理解できる		退院後の注意事項や生活について理解することができる						
食事	普通食が出ます 必要に応じて治療食が出ます (水分摂取は麻酔科医から説明があります)	絶飲食です	手術の2時間後より、飲水ができます	食事を開始します おなかの動きがよければ、軟らかい食事から開始し、徐々に普通食になります					
安静度	制限はありません		ベッド上で安静です クッション枕を使用し、姿勢の調整を行います 横向きになるときは、創部から出ている管が、上になる向きにしてください	装具を装着し、歩くことができます					
清潔	シャワー浴ができます	シャワー浴ができます 義歯・指輪・ヘアピンは外してください		看護師がからだを拭きます	全身状態が落ち着いていれ、ばシャワー浴ができます ※初めてのシャワー浴の際には、看護師が介助・説明を行います				
排泄	排便の確認を行い、必要に応じて便処置を行います		尿の管が入っています ベッドの上での排泄となります	歩けるようになれば、尿の管を抜きます【必要に応じてポータブルトイレ・尿器を使用します】					
検査	医師の指示により検査を行います		血液検査と手術部のX線撮影をします	血液検査を行います	術後3日目、7日目、14日目に血液検査や手術部のX線撮影をします 患者状態により追加もあります				
治療処置	普段飲まれているお薬は特に指示がなければ続けてお飲みください ※抗凝固剤を普段飲まれている方は内服が中止できていることを確認します	点滴(抗生剤)を開始します	点滴を開始します 酸素吸入をします 創部に血液を体外に排液するための管を入れます 飲水・食事が開始となれば普段飲まれている飲み薬を再開します(抗凝固剤の内服は医師の指示が出れば再開します)	手術後14日目に創部の抜糸を行います					
リハビリ	理学療法士からリハビリについて説明があります		装具を装着し、歩行訓練を行います(歩行状態により歩行器・杖を使用します)						
説明指導	・麻酔科医から麻酔について説明があります ・お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください ・主治医・看護師から手術について説明があります(看護師はパンフレットを使用し説明します) ・薬剤師からお薬について説明があります ※同意書は手術当日までに看護師にお渡しください ※手術中、家族の方は病室またはデイコーナーでお待ちください		痛みがある時は、遠慮なく看護師に声をかけてください 必要時、痛み止めを使います 術後、主治医から治療について説明があります 必要に応じて、栄養士から退院後の食事について説明があります						
			※手術前にお渡しするパンフレットを参考に、してはいけない姿勢を十分理解して、リハビリをがんばりましょう わからないことがあれば主治医、看護師、理学療法士に、ご相談ください ◆寝返りのポイント◆ 両膝を立てそろえます 次に下腹に力を入れ、肩と腰がねじれないように横向きになります						
			薬剤師からお薬について説明があります 感染徴候がなければ退院または転院となります						

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

◇総合的な機能評価◇

・日常生活動作

・認知機能

・意欲

評価対象外

問題なし

問題なし

問題なし

要経過観察

要経過観察

要経過観察

※ 特別な栄養管理の必要性

有

無

主治医

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

年

月

日

患者 又は 親権者・親族等サイン

(続柄)

高知赤十字病院 整形外科

08-031(患者用)